

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成20年7月

施設名	高知県立美術館	所管課室	文化・国際課
-----	---------	------	--------

1 施設の概要

指定管理者名	財団法人高知県文化財団	指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日
施設所在地	高知市高須		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・美術品及び美術に関する資料の収集、保管及び展示 ・美術に関する専門的な調査研究 ・美術に関する講演会、講習会、研究会等の教育普及活動 ・美術品等の展示のための県民ギャラリーの提供 ・音楽、演劇等の鑑賞のためのホールの提供 ・上記のほか、美術館の設置の目的を達成するために必要な業務 		
施設内容	<p>面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p><建物>延べ床面積:6,388㎡ SRC造地上3階建 <土地> 19,574㎡ 駐車場 144台 <主要施設> 常設展示室、企画展示室、県民ギャラリー、講義室、創作室、ミュージアムショップ、レストラン、美術館ホール(399席)など <開館時間>午前9時～午後5時 <休館日> 12月27日～1月1日 <主な料金> 常設展 一般350円・大学生250円 高校生以下、高知県長寿手帳所持者(65歳以上)は無料 施設利用料 県民ギャラリー21,230円(1日)、企画展示室53,100円(1日) ホール1日38,080～45,910円</p>		
職員体制	常勤職員: 12人	契約職員: 12人	合計: 24人

2 収支の状況

単位:千円

		平成18年度(決算)	平成19年度(決算)	平成20年度(予算)
収入	県支出金	321,250	316,332	325,790
	事業収入	61,687	51,192	44,733
	その他	29,407	14,961	23,750
	収入計	412,344	382,485	394,273
支出	事業費	108,062	84,604	93,823
	管理運営費	248,756	281,239	278,012
	(うち人件費)	(102,060)	(99,759)	(105,985)
	その他	13,873	14,133	22,438
	支出計	370,691	379,976	394,273

3 利用状況

		平成18年度実績	平成19年度実績	前年度比
年間利用者数(単位:人)	常設展	10,962人	14,920人	3,958人
	企画展	66,332人	38,367人	-27,965人
	貸館	245,167人	98,285人	-146,882人
	美術館ホール	51,197人	43,398人	-7,799人
	合計	373,658人	194,970人	-178,688人
	<p><利用実績> 利用者数で見ると、特に貸館事業における利用者が大幅に減少したことにより、前年度比 178,688人減(47.8%減)の194,970人となっている。これは、H18年度に開催された人体の不思議展(貸館事業)の観覧者数(144,176人)の減によるものと考えられる。なお、H19年度は館外活動にも力を入れており、休・廃校プロジェクトなどで9,385人が美術館の事業に参加している。</p>			

<p>利用者意見等の反映</p>	<p>利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業毎にアンケートを行い事業終了後に集計し、全職員に報告するとともに、問題点、改善策等を協議確認している。また、その結果を展覧会やホール事業、託児サービス、各講座などへ反映し事業の改善を図っている。 ・来館者から指摘のあった改善事項やアドバイスについては、他の企画にも反映するように、直接、企画を担当する学芸員の間で周知の徹底を図った。事例「高知竜宮城展」において、作家等の了解を得て会場内での写真撮影を許可した。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お客様の立場に立つという意識を持って対処する」を館の基本としている。 ・外部有識者による運営協議会を開催している。 ・クレームの情報を毎朝の定時ミーティング等により全職員が共有し、来館・電話等でのお客様からの質問・要望・苦情等に随時迅速・適切に対応している。 ・館に寄せられたクレーム件数は19年度22件で、内容は、展示に関するもの、係員・職員の対応に関するもの、館の運営に関するもの等であった。
<p>その他特記事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 館の利用のほか、以下のような活動を行った。 [教育普及事業] 出前びじゅつ講座 30校(1,407人) ハローミュージアム(学校移動美術館) 4校(746人) 館内ツアー 月2回 講座・ワークショップ 10種(延べ11,701人) ギャラリートーク 63回(2,460人)

4 平成19年度業務評価

項 目	状 況 説 明
<p>管理運営に関する評価</p>	<p>効率的な運営がなされており、また、施設及び設備の管理も適正に行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部資金を15,299千円獲得していることは収入努力の面で大変評価できる。 ・受付の対応に好感を感じた。職員研修等が行き届いており、館の利用者に対するもてなしの心が見て取れる。
<p>事業の実施(企画及び運営)に関する評価</p>	<p>事業を通じて県民の創造活動の支援、文化振興に大きく寄与できている。また、資料については概ね適正な管理及び活用ができています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展覧会事業では定期的なギャラリートークを実施しており、観覧者に合わせたサービスに好感が持てる。 ・教育普及事業は、新たなものに取り組もうとする積極性が感じられる。特に、土佐清水市での取組は注目される。(休・廃校プロジェクト) ・学芸員が県内で行われる展覧会を回り、県内の作家を発掘する活動は地道ながら評価できる。 ・今後、歴史民俗資料館などの資料を来館者の多い美術館で展示する企画展を各館の連携として事業を考えてみてはどうか。 ・美術品収集に関しては、県の対応も含め、改善の余地があるように思われる。
<p>総体的な評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度事業評価の結果を踏まえ、管理・運営・事業全般に良い取組を行っている。
<p>総合評価</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斬新な企画の催しや、出前講座などの館外活動等々、意欲的な運営が続いている。 ・様々な企画が積極的に素晴らしく、県民に高質の芸術鑑賞の機会を与えている点で高く評価したい。今後も大いに期待する。 ・世界的な公演(チェルフィッチュ)の誘致や高知城野外演劇プロジェクトなど、芸術創造拠点の役割を果たしていると評価する。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

評価項目ごとの評価内容

県立文化施設指定管理者事業評価シート(平成19年度事業)

施設名	高知県立美術館	
評価項目	評価	特記事項
1 管理運営の基本方針（総括）	A	・平成18年度事業評価の結果を踏まえ、管理運営全般に良い取組を行っている。
		平成19年度の美術館の管理運営（事業）にあたって、どのような方針を立て、どう結果をだしたか。 平成18年度事業評価の結果を踏まえ、どのように取組んできたか。
2 事業を通じて県民の創造活動の支援、文化振興への寄与ができたか	A	・事業を通じて県民の創造活動の支援、文化振興に大きく寄与できている。
(1) 展覧会事業の実施	A	・定期的なギャラリートーク、観覧者に合わせたサービスが良い。
常設展、企画展及び貸館展覧会の実施回数、内容、集客目標と観覧者数等の状況		
理解促進の取組の状況 展覧会事業についての特記事項		
(2) ホール事業の実施	A	・各方面からの助成金を得て、年間目一杯の企画をしている。 ・貸館率74%と良好である。
ホール事業の実施回数、内容、集客目標と入場者数等の状況 ホール事業についての特記事項		
(3) 教育普及事業その他の事業	A	・積極性が感じられる。 ・土佐清水市での取組は注目される。 (休・廃校プロジェクト)
事業の内容、件数、参加人数の状況 教育普及事業その他の事業についての特記事項		
(4) 事業を通じた創造活動・文化振興の支援	A	・学芸員が県内で行われる展覧会を回り、県内の作家を発掘する活動は地道ながら評価できる。
子どもが芸術文化に親しみ感性を育む取組		
高齢者や障がい者が利用しやすい取組		
芸術家や舞台芸術等の創作活動を支援する取組の状況		
地域の文化活動との連携・支援 高知県ゆかりの芸術家を顕彰する取組		
(5) 県民の視点にたった運営	A	・歴史民俗資料館などの資料を来館者の多い美術館で展示する企画展を各館の連携事業として考えてみてはどうか。
美術館の活動や芸術文化についての情報提供		
利用者、県民へのレファレンスの状況		
県民参加の活動 県内の文化施設との連携		
3 資料の適正な管理と活用ができたか	A	・資料について概ね適正な管理及び活用ができている。
(1) 資料の収集及び保存管理	B	・美術品収集に関しては、県の対応も含め、改善の余地があるように思われる。
資料収集の状況		
資料の修復 保存環境の維持		
(2) 資料の効果的な活用	A	・所蔵資料はコレクション展、企画展で活用している。 ・所蔵品の資料整理を常時行っている。
資料データの管理		
所蔵資料の活用の状況 調査研究と成果の公表		
4 効率的な運営とサービスの向上が図れたか	A	・効率的な運営及びサービスの向上が認められる。
(1) 経営努力	A	・外部資金を15,299千円獲得していることは大変評価できる。
収入増加の取組		
経費縮減の取組		

(2) サービス向上への取組 自己点検・評価の状況 事故・クレームへの対応 職員の専門性の向上 その他のサービス改善事項	A	・受付の対応に好感を感じた。職員研修等が行き届いており、館の利用者に対するもてなしの心が見て取れる。
(3) 社会的責務 専門的人材の育成 県内の文化施設を牽引する取組 法令・規程等の遵守	A	・職員の人事交流等を検討してはどうか。
5 施設及び設備の管理は適正に行えたか	A	・施設及び設備の管理を適正に行っている。
(1) 建物や設備の管理状況 点検・修繕の実績 第三者への業務委託の状況	B	・外壁の漆喰の修繕が急務である。
(2) 危機管理 (風水害、火災、地震、盗難等危機管理対策、マニュアル作成や職員研修など)	A	
総合評価	〔評価委員の意見〕	
A	・斬新な企画の催しや、出前講座などの館外活動等々、意欲的な運営が続いている。 ・様々な企画が積極的で素晴らしく、県民に高質の芸術鑑賞の機会を与えている点で高く評価したい。今後も大いに期待する。 ・世界的な公演（チェルフィッチュ）の誘致や高知城野外演劇プロジェクトなど、芸術創造拠点の役割を果たしていると評価する。	

評価の段階の目安

- 「A」 計画や目標を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされた
- 「B」 概ね計画や目標どおりであり、適正な管理運営・事業の遂行がされた
- 「C」 計画や目標に達しない面があり、改善のための工夫や努力が必要
- 「D」 管理運営・事業の遂行が適正に行われたとはいえ、大いに改善を要する